

# 四半期報告書

(第54期第2四半期)

自 平成21年7月1日  
至 平成21年9月30日

東和薬品株式会社

E00974

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

### 第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5

### 第3 設備の状況

### 第4 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	7
(2) 新株予約権等の状況	7
(3) ライツプランの内容	7
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	7
(5) 大株主の状況	8
(6) 議決権の状況	9

#### 2 株価の推移

#### 3 役員の状況

### 第5 経理の状況

#### 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15

#### 2 その他

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年11月11日
【四半期会計期間】	第54期第2四半期（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）
【会社名】	東和薬品株式会社
【英訳名】	TOWA PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉田 逸郎
【本店の所在の場所】	大阪府門真市新橋町2番11号
【電話番号】	06 (6900) 9100 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 藪下 啓二
【最寄りの連絡場所】	大阪府門真市新橋町2番11号
【電話番号】	06 (6900) 9100 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 藪下 啓二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第2四半期 連結累計期間	第54期 第2四半期 連結累計期間	第53期 第2四半期 連結会計期間	第54期 第2四半期 連結会計期間	第53期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高（千円）	17,140,084	19,068,692	8,803,884	9,606,713	35,966,812
経常利益（千円）	2,780,977	3,180,013	1,549,960	1,510,882	6,682,588
四半期（当期）純利益（千円）	1,667,775	1,910,454	804,816	907,449	3,777,129
純資産額（千円）	—	—	36,388,875	39,608,815	38,045,522
総資産額（千円）	—	—	46,174,521	53,422,572	48,238,579
1株当たり純資産額（円）	—	—	2,119.63	2,307.23	2,216.14
1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	97.15	111.28	46.88	52.86	220.02
潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（%）	—	—	78.8	74.1	78.9
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	1,249,521	3,068,659	—	—	4,471,651
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△1,393,459	△5,603,902	—	—	△2,475,130
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△386,148	3,610,401	—	—	△772,566
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	—	—	1,669,641	4,508,314	3,425,386
従業員数（人）	—	—	1,225	1,325	1,237

（注）1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、連結子会社における異動もありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、以下の会社が新たに提出会社の関係会社となりました。

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有 割合又は被所 有割合 (%)	関係内容
(その他の関係会社) 株式会社吉田事務所	大阪府箕面市	10	1. 投資業 2. 不動産の売買およ び賃貸、管理業 3. 上記各号に付帯す る一切の業務	被所有割合 26.36 [17.20]	役員の兼任等 有

(注) 議決権の所有割合の [ ] 内は、緊密な者又は同意している者の所有割合で外数となっております。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数 (人)	1,325 (119)
----------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第2四半期連結会計期間の平均人員を ( ) 外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数 (人)	1,248 (116)
----------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第2四半期会計期間の平均人員を ( ) 外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）における生産実績は、次のとおりであります。

薬効	金額（千円）	前年同四半期比（%）
神経系及びアレルギー用薬	1,272,907	86.7
循環器系及び呼吸器用薬	4,133,084	95.2
消化器官用薬	1,950,246	140.2
ホルモン剤	60,889	186.6
ビタミン剤	464,086	111.2
その他の代謝性医薬品	705,341	71.7
抗生物質及び化学療法剤	466,041	62.8
その他	507,234	91.3
計	9,559,831	96.3

(注) 1 事業の種類別セグメント情報を記載していないため、薬効別生産実績を記載しております。

2 上記金額は売価換算で表示しており、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 商品仕入実績

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）における商品仕入実績は、次のとおりであります。

薬効	金額（千円）	前年同四半期比（%）
神経系及びアレルギー用薬	93,604	124.3
循環器系及び呼吸器用薬	95,896	69.2
消化器官用薬	27,923	89.6
ビタミン剤	12,056	83.3
抗生物質及び化学療法剤	28,706	86.3
漢方製剤	25,559	90.2
その他	109,223	118.0
計	392,970	95.0

(注) 1 事業の種類別セグメント情報を記載していないため、薬効別商品仕入実績を記載しております。

2 上記金額は実際仕入額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 受注状況

当社グループ（当社及び連結子会社）は、主として見込み生産を行っているため、記載を省略しております。

#### (4) 販売実績

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）における販売実績は、次のとおりであります。

薬効	金額（千円）	前年同四半期比（%）
（製 品）		
神経系及びアレルギー用薬	1,287,265	108.9
循環器系及び呼吸器用薬	3,790,371	111.2
消化器官用薬	1,586,976	116.6
ホルモン剤	33,859	94.7
ビタミン剤	443,087	104.3
その他の代謝性医薬品	837,565	104.7
抗生物質及び化学療法剤	484,693	119.3
その他	521,323	102.2
計	8,985,142	110.5
（商 品）		
神経系及びアレルギー用薬	133,413	106.9
循環器系及び呼吸器用薬	164,182	88.7
消化器官用薬	38,779	94.6
ビタミン剤	14,610	81.3
抗生物質及び化学療法剤	131,642	83.1
漢方製剤	29,849	90.7
その他	109,093	94.6
計	621,571	92.0
合計	9,606,713	109.1

(注) 1 事業の種類別セグメント情報を記載していないため、薬効別販売実績を記載しております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3 総販売実績に占める割合が10%以上の相手先がないため、相手先別販売実績の記載はしておりません。

## 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

##### (1) 業績の状況

当第2四半期の国内経済は、4－6月期の実質GDP成長率が前年同期比プラスに転じるなど、昨年下半年から続いた急速な景気後退に下げ止まりの気配が感じられます。一方で、7月に過去最悪を更新した完全失業率も依然高い水準に止まっており、円高ドル安の進行により、輸出関連企業を中心として再び企業業績が悪化に転じる可能性もあります。

医療用医薬品業界では、今年度は薬価改定もなく、制度面での大きな環境変化はありませんでした。一方、来年度以降に向けて、薬価維持特例などの薬価制度改革議論がなされておりますが、民主党への政権交代の影響もあり、今後の議論の行方は不透明な状況にあります。後発医薬品の使用促進につきましても、「平成24年度までに、後発医薬品の数量シェアを30%（現状から倍増）以上にする」という政府目標に向けて、平成22年4月には、更なる推進策が実施されると思われませんが、具体的な議論は進んでいないのが現状です。

このような中、当社グループは、ジェネリック医薬品の需要拡大が見込まれる保険薬局、病院市場で取引き軒数の拡大を目指した営業活動を展開しました。また、引き続き適正価格販売を維持し、血管拡張剤アムロジピンをはじめ、高脂血症治療剤マイバスタン、アレルギー性疾患治療剤エルピナン、消化性潰瘍用剤ファモスタジンなどの主力品目の販売拡大に努めました。特に、アムロジピン製剤のジェネリックとして当社のみがOD錠（水なしで服用できる口腔内崩壊錠）を発売したアムロジピンOD錠「トワ」は、その製剤的優位性が市場で高く評価され、売上拡大に大きく寄与いたしました。

この結果、当第2四半期の当社グループの売上高は、9,606百万円（前年同期比9.1%増）となり、営業利益は1,758百万円（同13.3%増）となりました。一方、平成21年6月末から5円80銭の円高になったことに伴い、210百万円のスワップ評価損を計上したことなどにより、経常利益は1,510百万円（同2.5%減）となりました。第2四半期純利益は、前年同期に計上した特別損失が今期は小さかったため、907百万円（同12.8%増）となりました。

##### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、第1四半期末比1,975百万円増加（前年同期比946百万円の増加）し、4,508百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は2,343百万円の増加（同468百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,490百万円、および減価償却費429百万円等であります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は4,370百万円の減少（同3,507百万円の減少）となりました。主な減少要因は、定期預金の預入による支出4,000百万円等であります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は3,997百万円の増加（同3,996百万円の増加）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入4,000百万円であります。

##### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

##### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は700百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、改修について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	49,000,000
計	49,000,000

##### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月11日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	17,172,000	17,172,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	17,172,000	17,172,000	—	—

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	17,172,000	—	4,717,700	—	7,870,735

## (5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式 数の割合 (%)
株式会社吉田事務所	大阪府箕面市桜ヶ丘3丁目14番7号	4,527	26.36
有限会社吉田興産	大阪府箕面市桜ヶ丘3丁目14番7号	2,000	11.64
吉田 逸郎	大阪府箕面市	856	4.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	609	3.54
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	85 BROAD STREET NEW YORK, NY, USA (東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー)	538	3.13
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505044 (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	P.O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区月島4丁目16番13号)	470	2.73
ジェーピー モルガン チェース バンク 385078 (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	125 LONDON WALL LONDON EC 2Y 5AJ U.K. (東京都中央区月島4丁目16番13号)	373	2.17
東和薬品共栄会	大阪府門真市新橋町2番11号	361	2.10
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町2丁目2番2号	318	1.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	314	1.83
計	—	10,369	60.38

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)、野村信託銀行株式会社(投信口)、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有する株式数は、全て信託業務に係るものです。
2. 株式会社吉田事務所は、平成21年6月5日に有限会社吉田事務所から組織変更を行いました。
3. 株式会社吉田事務所は、平成21年8月1日に有限会社吉田企画を吸収合併しました。
4. 東和薬品共栄会は、取引先持株会であります。
5. オービメッド・キャピタル・エルエルシー及びその共同所有者であるオービメッド・アドバイザーズ・エルエルシーから、平成21年8月4日付の大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、平成21年7月31日現在でそれぞれ以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として期末現在における実質所有株式数が確認できないため、上記大株主には含めておりません。なお、大量保有報告書の写しの内容は、以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
オービメッド・キャピタル・エルエルシー	アメリカ合衆国 ニューヨーク	509	2.96
オービメッド・アドバイザーズ・エルエルシー	アメリカ合衆国 ニューヨーク	622	3.63

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 4,700	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 17,162,900	171,629	—
単元未満株式	普通株式 4,400	—	—
発行済株式総数	17,172,000	—	—
総株主の議決権	—	171,629	—

② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
東和薬品株式会社	大阪府門真市新橋町2番11号	4,700	—	4,700	0.03
計	—	4,700	—	4,700	0.03

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高 (円)	4,180	4,420	5,070	4,950	4,950	4,660
最低 (円)	3,730	3,740	4,150	4,460	4,620	4,350

(注) 最高・最低株価は東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	信頼性保証本部長	取締役	生産本部大阪工場長	野口 豪	平成21年10月1日

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,184,946	2,912,744
受取手形及び売掛金	14,041,505	13,902,018
有価証券	323,368	512,641
商品及び製品	5,479,790	5,418,888
仕掛品	1,594,061	1,747,385
原材料及び貯蔵品	2,509,537	2,269,343
その他	1,331,561	1,687,815
貸倒引当金	△283,874	△40,446
流動資産合計	33,180,896	28,410,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※ 7,512,358	※ 7,612,949
機械装置及び運搬具（純額）	※ 2,118,794	※ 2,271,700
土地	6,600,957	5,689,542
建設仮勘定	520,992	355,698
その他（純額）	※ 427,587	※ 469,812
有形固定資産合計	17,180,690	16,399,704
無形固定資産	270,323	229,655
投資その他の資産		
投資有価証券	2,019,041	2,296,120
その他	801,189	930,035
貸倒引当金	△29,570	△27,330
投資その他の資産合計	2,790,661	3,198,826
固定資産合計	20,241,675	19,828,186
資産合計	53,422,572	48,238,579

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,150,062	4,330,534
未払法人税等	1,376,801	1,698,566
引当金	29,100	58,200
その他	3,295,791	3,155,580
流動負債合計	8,851,755	9,242,881
固定負債		
長期借入金	4,000,000	—
引当金	193,749	152,045
その他	768,252	798,130
固定負債合計	4,962,001	950,175
負債合計	13,813,756	10,193,057
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,717,700	4,717,700
資本剰余金	7,870,735	7,870,735
利益剰余金	27,038,195	25,514,008
自己株式	△7,517	△9,646
株主資本合計	39,619,112	38,092,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,297	△47,275
評価・換算差額等合計	△10,297	△47,275
純資産合計	39,608,815	38,045,522
負債純資産合計	53,422,572	48,238,579

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	17,140,084	19,068,692
売上原価	8,876,860	9,290,270
売上総利益	8,263,224	9,778,422
販売費及び一般管理費	※ 5,625,495	※ 6,030,058
営業利益	2,637,728	3,748,363
営業外収益		
受取利息	33,693	8,921
受取配当金	1,465	1,972
有価証券売却益	165	—
有価証券償還益	7,267	—
技術指導料	—	31,127
スワップ評価益	142,670	—
その他	103,648	62,787
営業外収益合計	288,911	104,808
営業外費用		
支払利息	4,884	9,227
有価証券償還損	—	1,190
有価証券評価損	114,751	197,283
スワップ評価損	—	445,860
その他	26,025	19,597
営業外費用合計	145,661	673,158
経常利益	2,780,977	3,180,013
特別利益		
貸倒引当金戻入額	98,216	1,680
退職給付制度終了益	231,796	—
特別利益合計	330,012	1,680
特別損失		
固定資産処分損	6,122	2,770
たな卸資産評価損	10,135	—
投資有価証券評価損	201,740	20,549
工場閉鎖損失	91,194	—
特別損失合計	309,192	23,319
税金等調整前四半期純利益	2,801,798	3,158,373
法人税等	1,134,022	1,247,919
四半期純利益	1,667,775	1,910,454

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	8,803,884	9,606,713
売上原価	4,513,509	4,598,921
売上総利益	4,290,375	5,007,792
販売費及び一般管理費	* 2,737,803	* 3,249,464
営業利益	1,552,571	1,758,327
営業外収益		
受取利息	2,133	3,072
受取配当金	—	764
有価証券評価益	24,354	—
技術指導料	—	15,033
生命保険配当金	21,631	13,958
為替差益	—	12,073
その他	33,603	12,028
営業外収益合計	81,722	56,932
営業外費用		
支払利息	2,705	7,016
有価証券評価損	—	68,494
スワップ評価損	55,649	210,267
その他	25,977	18,598
営業外費用合計	84,332	304,377
経常利益	1,549,960	1,510,882
特別利益		
貸倒引当金戻入額	76,376	640
特別利益合計	76,376	640
特別損失		
固定資産処分損	5,831	849
投資有価証券評価損	201,740	20,549
工場閉鎖損失	91,194	—
特別損失合計	298,766	21,398
税金等調整前四半期純利益	1,327,570	1,490,124
法人税等	522,754	582,674
四半期純利益	804,816	907,449

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,801,798	3,158,373
減価償却費	875,378	832,939
工場閉鎖損失	25,366	—
のれん償却額	10,588	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△96,495	245,668
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△136,092	96,798
固定資産処分損益 (△は益)	6,122	2,770
たな卸資産評価損	10,135	—
受取利息及び受取配当金	△35,158	△10,893
支払利息	4,884	9,227
スワップ評価損益 (△は益)	△142,670	445,860
有価証券評価損益 (△は益)	316,491	217,832
有価証券売却損益 (△は益)	△165	—
有価証券償還損益 (△は益)	△7,267	1,190
売上債権の増減額 (△は増加)	△211,337	△141,744
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△567,270	△147,772
仕入債務の増減額 (△は減少)	△392,468	△180,472
その他	△255,497	112,282
小計	2,206,342	4,642,060
利息及び配当金の受取額	48,671	19,893
利息の支払額	△4,884	△15,877
法人税等の支払額	△1,000,607	△1,577,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,249,521	3,068,659
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△4,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,675,195	△1,655,017
投資有価証券の取得による支出	△50,000	—
投資有価証券の売却による収入	404,152	97,410
貸付金の回収による収入	18,000	30,000
その他	△90,415	△76,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,393,459	△5,603,902
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	4,000,000
配当金の支払額	△385,665	△388,947
自己株式の取得による支出	△483	△650
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,148	3,610,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,602	7,769
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△501,483	1,082,928
現金及び現金同等物の期首残高	2,171,124	3,425,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 1,669,641	* 4,508,314

**【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】**

該当事項はありません。

**【表示方法の変更】**

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「技術指導料」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「技術指導料」は31,009千円であります。

当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 前第2四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「技術指導料」「為替差益」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「技術指導料」「為替差益」はそれぞれ14,842千円、9,644千円であります。

**【簡便な会計処理】**

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
税金費用の計算	法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

**【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】**

該当事項はありません。

**【追加情報】**

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額は、14,917,352千円であります。	※ 有形固定資産の減価償却累計額は、14,208,235千円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給料及び手当 2,272,466千円	給料及び手当 2,332,708千円
広告宣伝費 461,595	広告宣伝費 413,690
役員賞与引当金繰入額 29,100	役員賞与引当金繰入額 29,100
退職給付費用 156,047	退職給付費用 183,070
役員退職慰労引当金繰入額 5,375	役員退職慰労引当金繰入額 5,375
貸倒引当金繰入額 1,776	貸倒引当金繰入額 247,348
研究開発費 1,044,467	研究開発費 1,097,501

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給料及び手当 1,152,891千円	給料及び手当 1,207,445千円
広告宣伝費 136,750	広告宣伝費 146,535
役員賞与引当金繰入額 14,550	役員賞与引当金繰入額 14,550
退職給付費用 76,208	退職給付費用 89,994
役員退職慰労引当金繰入額 2,687	役員退職慰労引当金繰入額 2,687
貸倒引当金繰入額 341	貸倒引当金繰入額 174,726
研究開発費 575,762	研究開発費 700,279

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) (千円)	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在) (千円)
現金及び預金勘定 1,282,926	現金及び預金勘定 8,184,946
有価証券勘定 386,714	有価証券勘定 323,368
現金及び現金同等物 1,669,641	預入期間が3か月を超える定期預金 △4,000,000
	現金及び現金同等物 4,508,314

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 17,172,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 4,711株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月24日 定時株主総会	普通株式	386,267	22.5	平成21年3月31日	平成21年6月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年11月9日 取締役会	普通株式	386,264	22.5	平成21年9月30日	平成21年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

在外子会社、在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 2,307円23銭	1株当たり純資産額 2,216円14銭

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 97円15銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 111円28銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(千円)	1,667,775	1,910,454
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,667,775	1,910,454
期中平均株式数(株)	17,167,584	17,167,344

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 46円88銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 52円86銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(千円)	804,816	907,449
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	804,816	907,449
期中平均株式数(株)	17,167,544	17,167,302

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成21年11月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・386,264千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・22円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成21年12月1日

(注) 平成21年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月14日

東和薬品株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 野田 弘一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 永原 新三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東和薬品株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的な手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東和薬品株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月11日

東和薬品株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 永原 新三 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渡部 健 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東和薬品株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的な手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東和薬品株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。